

平成 2 8 年度実施プログラムについて

1

平成 2 8 年 9 月 3 0 日

草津市総合政策部草津未来研究所

全体の流れ

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

学習・交流

	機能	内容	回数
アーバンデザイン スクール	学習	UDCBKの運営を担う人材の育成を目的に、UDC運営に必要な知識等の取得	5回
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6
その他イベント	学習・交流	環境月間や児童虐待月間等オープンスペースの展示に合わせたセミナーや防災おにぎりデー等	4~6

合計 20回予定

アーバンデザインスクール（学習）

▶ 目的

専門家の専門的な説明を市民にわかるように伝えたり、外国の人の文化や習慣、宗教的な背景を理解し、日本人に伝えたり、また市の政策を理解し、顕在化している問題の背後に潜む課題を専門家に伝える媒介の専門家、地域の専門家の育成を目的とする。

▶ 実施要領

- ▶ 回数： 4～5回を1クール／半期として、年間2クール行う。
- ▶ 媒介の専門家コース、地域の専門家コースをそれぞれ1クール実施する。
- ▶ 定員： 20名程度（全回出席できること）
オブザーバ参加を認める。
- ▶ その他：今年度については半期のみであること、アーバンデザインセンター開設初年度であることから、「アーバンデザインセンターを知る」をテーマとする。

アーバンデザインスクール（学習）

■ カリキュラム（案）

- 媒介の専門家、地域の専門家として必要なスキル、及び知識を取得する。
- 講師陣は可能な限り包括協定締結 5 大学教員、地元の人、及び市役所職員とする。

■ 媒介の専門家コース

- 専門家と市民を媒介するために必要な「コミュニケーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」「コーディネーション」「コラボレーション」能力等の取得を目指す。

■ 地域の専門家コース

- 「アーバンデザイン」「子育て政策」「食と健康」「スポーツと健康」「産業振興」等をテーマに学ぶ。

アーバンデザインスクール（学習）

▶ 今年度のアーバンデザインスクール

- ▶ テーマ ; 「アーバンデザインセンターを知る」
- ▶ 実施回数 ; 5回
- ▶ 定員 ; 20名（全回出席できること、なお、各回にオブザーバ参加を認める）
- ▶ 開催日時（予定）
 - ▶ 平成28年11月から平成29年3月までの第2土曜日 午前10時から正午（ただし、2月のみ第3土曜日）
 - ▶ 第1回 平成28年11月12日（土）
 - ▶ 第2回 平成28年12月10日（土）
 - ▶ 第3回 平成29年1月14日（土）
 - ▶ 第4回 平成29年2月18日（土）
 - ▶ 第5回 平成29年3月11日（土）

アーバンデザインスクール（学習）

- ▶ 各回のテーマ（案）
 - ▶ 第1回 「アーバンデザインセンターとは？」
信時 正人氏（立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員、追手門学院大学客員教授）
 - ▶ 第2回 「松山アーバンデザインセンターの運営事例について」
松本 啓治氏（愛媛大学防災情報研究センター アーバンデザイン研究部門 教授）
 - ▶ 第3回 「南草津駅の商業集積について 草津駅との比較」
市職員（予定）
 - ▶ 第4回 「UDCBKの検討経緯について」
溝内 辰夫（草津市総合政策部草津未来研究所参事）
 - ▶ 第5回 「これらかのUDCBKについて」
及川 清昭氏（UDCBKセンター長、立命館大学理工学部教授）
- ▶ 各回コーディネーター 肥塚 浩氏（立命館大学）

たぶんカフェ（多文化（カ）フェ）

- ▶ 外国人のUDCBKへの参加を目的に、草津市国際交流協会（KIFA）と協働で、様々な立場の外国人と同じ立場の日本人市民との交流を図り、共通の課題を解決するためのきっかけを作る。
- ▶ 3回シリーズ
- ▶ テーマ
 - ▶ 第1回 10月25日（火）午前10時から正午
 - ▶ 外国人ママと日本人ママ
 - ▶ 京都橘大学看護学部
 - ▶ 第2回 11月16日（金） 午後6時半から午後8時
 - ▶ 草津で働く外国人と日本人
 - ▶ 第3回 12月16日（金） 午後6時半から午後8時
 - ▶ 留学生と地域の人々

やさしい日本語勉強会（日本語サロン）

目的

- 草津に学び、働き、そして住んでいる外国にルーツを持つ人々のみならず、誰でもがわかりやすい日本語を学ぶことにより、様々な人々がUDCBKで行われる対話に参加できるようにする。

対象者

- 外国にルーツを持つ人々、やさしい日本語に興味を持つ日本人

方法

- 防災や子育てガイドブックなどの公的刊行物や役所からの通知文など難解な日本語を外国人と共にやさしい日本語への変換の仕方を検討する。

開催日

- 毎週火曜日 午前10時から正午
- 第2週金曜日 午後6時半から20時

場所

- オープンスペースを利用（約15人程度）

絵本の読み聞かせ

■ 目的

- 南草津周辺に住む子育て中の親子を対象に絵本の読み聞かせを行うことにより、お子と一緒に活動できる場所であることを体験していただき、セミナーやイベントへの参加のきっかけを作る。

■ 対象者

- 子育て中の親子

■ 方法

- U D C B K スタッフ、およびボランティア市民が子供向けの絵本を読み聞かせる。

■ 開催日

- 毎週水曜日 午前11時45分から正午過ぎ

■ 場所

- オープンスペースを利用（約15人程度）

生命科学サイエンスカフェ（検討中）

■ 目的

- 立命館大学生命科学部と協働で、生命科学に関するテーマに市民と対話を行い、研究者が市民との科学コミュニケーションのあり方を考える場とする。

■ 対象者

- 生命科学等に関心がありながらも、セミナーやイベントへの参加を躊躇していた人々

■ 方法

- 立命館大学生命科学部教員が生命科学について一方的に講義するのではなく、市民と対話しながら、市民がどのように科学を受容していくかを体験する。

■ 開催日

- 毎月1回実施予定（水曜日または金曜日の夜間）

■ 場所

- オープンスペースを利用（約15人程度）

全体の流れ

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

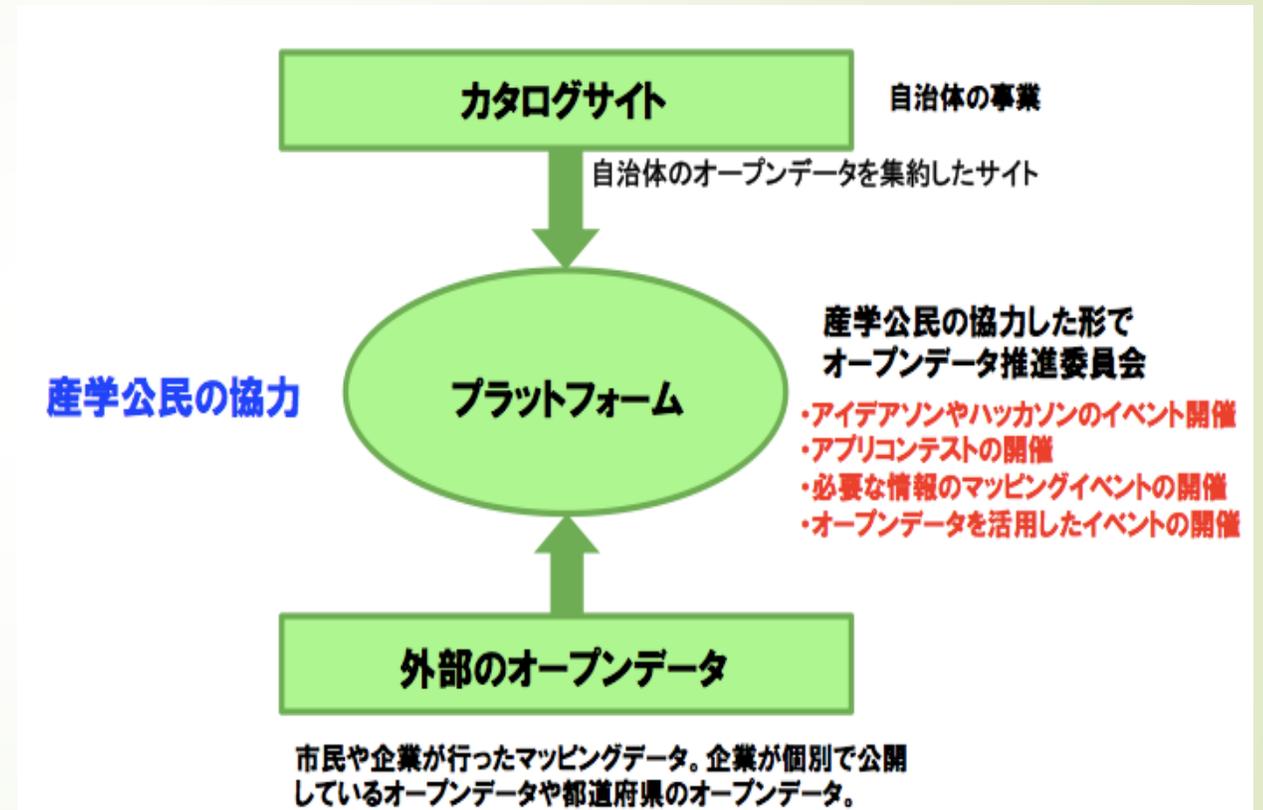
調査研究（案）

- UDC構成団体による自由な調査研究
- UDCをリサーチ拠点として活用
- 検討結果等について市民と意見交換

- オープンデータ利活用手法の調査研究
 - 市所有情報のオープンデータ化に呼応し、オープンデータをまちづくりに活かすための手法を検討
 - アイデアソン、ハッカソンの実施
 - スマートデバイスを利用した地域情報の収集手法の検討
- 都市デザインスタジオ
 - 学生の自由な発想のもと、未来の草津の都市デザインについて調査研究

(参考) 草津市オープンデータ利活用促進のための調査研究

- ▶ アーバンデザインを考える前提として、地域の最新の状況を把握しておく必要がある。
- ▶ そのための社会インフラとしてオープンデータの利活用は重要である。
- ▶ また行政の持つ情報だけではなく、市民の日常の活動の情報のみならず市民の日々の活動により直接間接に更新される情報も収集する必要がある。



東京大学主催コンテスト「チャレンジ！オープンガバナンス2016」(COG)に応募！

オープンガバメント研究会

- 目的
 - オープンデータの調査研究の一環として、COGにエントリーした防災を主なテーマにオープンガバナンスのあり方を検討する。
- 対象者
 - オープンガバメントに関心を持つ市役所職員、研究者、および市民
- 方法
 - 事務局より案を提示し、それをもとに議論していただく
 - OGCのアイデア出しを行う
- 開催日
 - 第2金曜日及び第4水曜日の午後6時半から20時
- 場所
 - オープンスペースを利用（約15人程度）

アイデアソン、ハッカソンの実施

アイデアソンの実施

日程: 11月下旬または12月上旬予定

場所: フェリエ5階中会議室

定員: 20名程度

オープンガバナンス研究会の成果をベースにより幅広いアイデアを募る。

ハッカソンの実施

日程: 2017年1月中旬予定

場所: フェリエ5階中会議室

定員: 20名程度

アイデアソンで出たアイデアのプロトタイプ制作に繋がる概念設計を考える。

全体の流れ

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

社会実験推進事業

- ▶ 包括協定締結大学を対象とした「アーバンデザイン」「食と農」「健康」「子育て」「産業振興」をテーマにした社会実験の委託事業
 - ▶ 5事業の実施予定（一件あたり40～50万円を想定）
 - ▶ 1大学1事業を原則とする
 - ▶ テーマについては市からリストを提示し、協議の上、決定する。
 - ▶ 平成28年度は10月からの6か月とする。

- ▶ 委託条件
 - ▶ UDCを活用した社会実験とすること
 - ▶ 市民、または市民グループと協働すること
 - ▶ 中間報告、最終報告の2回、市民を対象とした報告会を開催すること

現況

- 5大学のうち、4大学から8提案あり（成安造形大学は辞退）
- 打ち合わせの結果、現時点で以下の3件
- 2件については改めて照会中

No	大学名	提案
1	立命館大学	空き家・空き部屋を活用した分散型学生寮の検討
2	滋賀大学	避難生活時の火や水が入手困難な状況に適応するための映像教育プログラムの開発
3	京都橘大学	たちばな健康体操の普及啓発

全体の流れ

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

情報発信

専用ブログをベースに、それぞれのメディア特性に合わせた情報発信

- ▶ Facebookの開設
 - ▶ 現在、開設に向けて手続き中
- ▶ パンフレットの制作
 - ▶ 「資料9」参照
- ▶ エフエム草津による告知
 - ▶ 9/18、9/29 出演
 - ▶ 10/14 出演予定
- ▶ 広報紙
 - ▶ 「広報くさつ 10月15日号掲載

みなくさまつり ステージへの参加

- ▶ UDCBKを広く市民に知っていただくため、12月4日に開催されるみなくさまつりのステージに参加する。
- ▶ 未来創造セミナーで実施した愛彩菜をモチーフにした仮装を行い、「三彩菜の歌」を歌う。
- ▶ 未就園児、未就学児、小学生の市民を公募する。
- ▶ 12月4日までの間、UDCBKオープンスペース、市民交流プラザの音楽室（軽運動室）、南草津で活動する子育てサークルなどで、衣装づくりと歌の練習を実施する。
- ▶ みなくさまつり当日は、UDCBKオープンスペースで衣装づくりを行い、ステージ以外でも愛彩菜の仮装をしてお祭りに参加する。
- ▶ なお、ステージ出演は公募のため、現時点では参加できるか不明

今後の課題

- ▶ 「草津な人」の人選、および定期開催日の設定
- ▶ アーバンデザインに関する大学の研究室などによる都市デザインスタジオ
- ▶ 高齢者を対象とした平日昼間帯のセミナー、イベント、または高齢者の居場所づくり
- ▶ 中・高・大生の居場所づくり